

## ヨーロッパの年末年始（１）

---



今回はヨーロッパ各国の年末年始！についてお話ししたいと思います！クリスマスといえば恋人、年末年始といえば家族で除夜の鐘を聞く、という過ごし方が日本では主流ですよ？

さて、キリスト教の文化圏では Noël に大家族で集まってプレゼントを交換、年末年始は友人と盛り上がる、という形が主流なんです。

## ヨーロッパのクリスマスの過ごし方

---



カトリックの国々の中でも、クリスマスの過ごし方はいろいろ！

## ポーランドのクリスマス

例えば比較的信仰心の厚いポーランドの Lejask (ラジャイスク) という町では、la veille (イブ) から Noël 当日にかけ、氷点下になることの多い大聖堂の中でミサに出席し、神父さんの教えを受けながらお祈りを捧げます。マイナス20度になる年もあるポーランドでは、**マイナス10度台の中で Noël のミサ**が行われることも少なくないのだとか。そんな寒い中でも、Noël のミサの大聖堂には人がぎっしり！椅子が足りずに立ったまま出席する人々もいました。

年末年始時期にポーランドの家庭で作られるお菓子が、真っ黒なポピーシードがたっぷり入ったロールケーキの makowiec (マコヴィエツ)！健康にもよく、とっても美味しいんです。





また、寒さの厳しい冬には凍ってしまう湖も、とっても幻想的でした。



## スペインでは

---

ところ変わってスペインのバレンシア地方では、寒い Noël でも熱く！！家族と過ごしながらもフラメンコを踊り賑やかに過ごします。踊りに参加しない人もしっかりパルマス(手拍子)で応戦？します。ここで Noël を過ごすとは、3ヶ月ほどは現地の音楽が頭から離れません笑。どんなに寒い冬でも、体の奥底から熱情が湧いてきます！Venga venga !!

## スコットランドの大晦日

---

さて、時期が変わって Réveillon du nouvel an (大晦日、Saint Sylvestreとも言います。)はどうでしょうか？  
スコットランドの Edimbourg

## (エジンバラ)

では、毎年8万人が詰めかけ、21時から始まる大通りでのストリートパーティで盛大な花火が打ちあがります。歌い、踊り、カウントダウンをし、新年を迎える際にはもちろん！そう！日本で閉店時間に流れるあの名曲、Auld lang syne をみんなで、知ってる人、知らない人関係なく肩を抱き合い熱唱します。確かにヨーロッパではお正月にあたる3ヶ日がない分、新年があっさり過ぎる感覚がありますが、こうして新年を迎える瞬間、新しい年への敷居を大勢でまたく感覚は、なかなか胸に詰まるものがあります。

## あとがき

さあ最後にお待ちかね！フランスの大晦日はどうでしょうか？？記事が長くなりましたので、次回に続きます。



執筆 Yuko

オンラインフランス語学校  
**ENSEMBLE EN FRANÇAIS**  
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。



